

2008春季生活闘争

J R 連合 F A X ニュース

4 4

2008年 3月14日

日本鉄道労働組合連合会

JR四国労組第2回交渉開催！

賃上げにこだわり 粘り強く交渉継続!!

- 会社は有額回答困難を示唆 -

JR四国労組は、昨日(3/13)、第2回目となる団体交渉を行い、「賃金引き上げ」、「労働時間短縮」、「制度改善」の要求実現にむけて、引き続き、組合員の努力に応えうる回答を強く主張して、会社の誠意ある回答を求めた。

JR四国労組は、「鉄道運輸収入は、計画を上回り経常利益も計画を大きく上回ると見込んでいる。また、増収キャンペーンに取り組んでいる組合員の期待感も大きい。」と、更に前向きな回答を強く求めた。

これに対して会社側は、「長期人件費に影響を与えるベアについては、短期的な業績を反映する一時金と同様に考えるべきではない。経営体力は極めて弱いと認識している。」との考え方を示した。

四国労組は、業務対策委員会を開催し、賃金の引き上げ、時短及び制度改善について、粘り強く交渉を継続していくことで意思統一を図った。